



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月14日

上場会社名 かつこ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4166 URL https://cacco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岩井 裕之
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門管掌CFO (氏名) 関根 健太郎 TEL 03 (6447) 4534
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	222	—	50	—	47	—	32	—
2020年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	12.46	11.35
2020年12月期第1四半期	—	—

(注) 2020年12月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,669	1,182	70.6
2020年12月期	1,822	1,148	62.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 1,178百万円 2020年12月期 1,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	909	9.4	154	11.8	149	29.3	102	△21.3	39.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	2,620,004株	2020年12月期	2,619,581株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	－株	2020年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	2,619,586株	2020年12月期1Q	－株

(注) 1. 当社は、2020年12月期第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第1四半期における期中平均株式数を記載しておりません。

2. 当社は、2020年8月12日開催の取締役会決議により、2020年9月9日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済み株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料「2021年12月期第1四半期決算説明資料」は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、当社は、2021年5月14日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び当日配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による経済活動の制限や個人消費の低迷により厳しい状況が続いております。2度目の緊急事態宣言が解除となり経済活動は徐々に再開したものの、一部地域においてまん延防止等重点措置が実施されており、2021年4月には3度目の緊急事態宣言が発出されるなど、依然として先行きは不透明な状況であります。

消費者向け電子商取引(BtoC-EC)市場は、経済産業省による2019年の調査「令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業(電子商取引に関する市場調査)報告書」によると、前年比7.65%増の19.3兆円となり、依然として高い成長率を維持しております。一方、クレジットカード番号等の情報を盗まれ不正に使われる「番号盗用被害」が急増している近年の状況を受け、改正割賦販売法において、クレジットカード番号等の不正な利用を防止するために必要な措置を講じることが義務化され、また、その実務上の指針となる、「クレジットカード・セキュリティガイドライン2.0版(クレジットカード取引セキュリティ協議会)」においては、非対面取引におけるクレジットカードの不正利用対策として、加盟店に対して「属性・行動分析(不正検知システム)」等の方策をリスク状況に応じて導入することが求められるなど、不正対策に対する社会的要請はますます高まっております。

このような事業環境のもとで、当社は「未来のゲームチェンジャーの『まずやってみよう』をカタチに」という経営ビジョンを掲げ、当社の有するデータサイエンスの技術とノウハウをもとに、アルゴリズム及びソフトウェアを開発・提供することで、企業の課題解決やチャレンジを支援する「SaaS型アルゴリズム提供事業」を展開してまいりました。

不正検知サービスにおいては、不正注文検知サービス「0-PLUX」について、ECパッケージ・ショッピングカートベンダーとのシステム連携を引き続き進める等新規顧客開拓に努めた結果、既存顧客の持続的な成長にも支えられ、当第1四半期累計期間の「0-PLUX」のストック収益額(定額課金である月額料金と審査件数に応じた従量課金である審査料金の合計額)は168,983千円(前年同期比30.4%増)に拡大しました。また、不正アクセス検知サービス「0-MOTION」について、2021年3月に端末特定等の技術に関する特許を取得する等、引き続き検知精度向上及び機能充実を図るとともに、多分野での販路開拓に取り組んでまいりました。

決済コンサルティングサービスにおいては、システム開発案件の受注獲得に努め、また、データサイエンスサービスにおいては、1億レコードまで30営業日で集計・解析、報告を行う新たなデータ分析サービス「さきがけKPI」の販売拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は222,940千円、営業利益50,013千円、経常利益47,224千円、四半期純利益32,637千円となりました。

なお、当社はSaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,229,375千円となり、前事業年度末に比べ173,390千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が186,140千円減少したことによるものであります。固定資産は440,145千円となり、前事業年度末に比べ19,973千円増加いたしました。これは主に不正検知サービスにおけるシステムのアーキテクチャ刷新に伴うソフトウェア開発によりソフトウェア仮勘定が30,200千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,669,521千円となり、前事業年度末に比べ153,416千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は289,061千円となり、前事業年度末に比べ94,422千円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が30,000千円減少したこと及び未払金が34,743千円減少したことによるものであります。固定負債は198,256千円となり、前事業年度末に比べ92,753千円減少いたしました。これは主に社債が75,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は487,317千円となり、前事業年度末に比べ187,175千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,182,204千円となり、前事業年度末に比べ33,758千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が32,637千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.6%(前事業年度末は62.8%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月10日付で「2020年12月期決算短信」において公表いたしました2021年12月期通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,293,177	1,107,037
売掛金	89,922	95,872
仕掛品	135	—
前払費用	16,580	25,863
その他	2,950	602
流動資産合計	1,402,765	1,229,375
固定資産		
有形固定資産	12,423	12,334
無形固定資産		
ソフトウェア	16,834	15,382
ソフトウェア仮勘定	295,730	325,930
その他	1,414	1,401
無形固定資産合計	313,979	342,714
投資その他の資産	93,769	85,096
固定資産合計	420,172	440,145
資産合計	1,822,938	1,669,521
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,355	17,880
1年内返済予定の長期借入金	189,177	186,397
1年内償還予定の社債	30,000	—
未払金	88,316	53,573
未払法人税等	24,050	7,685
未払消費税等	13,037	9,859
賞与引当金	11,763	6,946
その他	12,782	6,718
流動負債合計	383,483	289,061
固定負債		
長期借入金	216,009	198,256
社債	75,000	—
固定負債合計	291,009	198,256
負債合計	674,492	487,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	362,499	362,766
資本剰余金	538,710	538,978
利益剰余金	244,524	277,161
株主資本合計	1,145,733	1,178,907
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△588	△2
評価・換算差額等合計	△588	△2
新株予約権	3,300	3,300
純資産合計	1,148,445	1,182,204
負債純資産合計	1,822,938	1,669,521

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	222,940
売上原価	55,467
売上総利益	167,472
販売費及び一般管理費	117,459
営業利益	50,013
営業外収益	
受取利息及び配当金	4
受取手数料	1
営業外収益合計	5
営業外費用	
支払利息	1,889
社債償還損	783
その他	121
営業外費用合計	2,794
経常利益	47,224
税引前四半期純利益	47,224
法人税、住民税及び事業税	5,304
法人税等調整額	9,282
法人税等合計	14,587
四半期純利益	32,637

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

当社は、SaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

借入金の繰上返済

当社は、2021年4月13日開催の取締役会決議に基づき、借入金の一括繰上返済を行いました。詳細は以下のとおりであります。

1. 株式会社東日本銀行

(1) 当初借入金額	25,000,000円
(2) 資金使途	運転資金
(3) 借入実行日	2018年6月29日
(4) 返済期日	2021年6月30日
(5) 繰上返済金額	1,370,000円
(6) 繰上返済日	2021年4月30日

2. 株式会社東日本銀行

(1) 当初借入金額	100,000,000円
(2) 資金使途	運転資金
(3) 借入実行日	2020年6月26日
(4) 返済期日	2025年6月2日
(5) 繰上返済金額	81,630,000円
(6) 繰上返済日	2021年4月30日

2. 株式会社りそな銀行

(1) 当初借入金額	200,000,000円
(2) 資金使途	運転資金
(3) 借入実行日	2020年7月21日
(4) 返済期日	2025年6月30日
(5) 繰上返済金額	166,660,000円
(6) 繰上返済日	2021年4月30日